

岡山県の地域資源の状況と 最近の特徴的な取組

1	広域高速交通網・物流	
(1)	岡山空港	1
(2)	高速道路網	2
(3)	水島港	3
2	温暖な気候に恵まれた暮らしやすい「晴れの国」	
(1)	降水量	4
(2)	地震	4
(3)	自然災害	4
3	ものづくりをはじめとした優れた産業集積	
(1)	水島地区	5
(2)	繊維製品（生地・アパレル製品）	6
(3)	ミクロものづくり岡山	7
(4)	おかやまグリーンバイオ・プロジェクト	9
(5)	医療・福祉分野産業のクラスターの形成	11
(6)	循環型産業クラスターの形成	14
(7)	新たな産業分野の創出（電池関連産業）	15
4	全国に誇る高品質の農林水産物	16
(1)	「おかやまブランド農林水産物」の育成	17
(2)	ブランド品目の情報発信と販路拡大	18
(3)	農商工連携の推進	19
5	優れた教育環境と豊かな伝統文化	
(1)	大学・短大の集積	20
(2)	文化財	20
(3)	博物館、美術館等	20
6	高い医療水準と充実した医療・福祉環境	
(1)	高い医療水準と充実した医療	21
(2)	充実した福祉環境	21
(3)	医療観光	22
7	国際貢献、国際交流	
(1)	国際貢献活動	23
(2)	国際交流・留学生	23
8	IT環境	24
9	中山間地域の活性化	25

1 広域高速交通網・物流

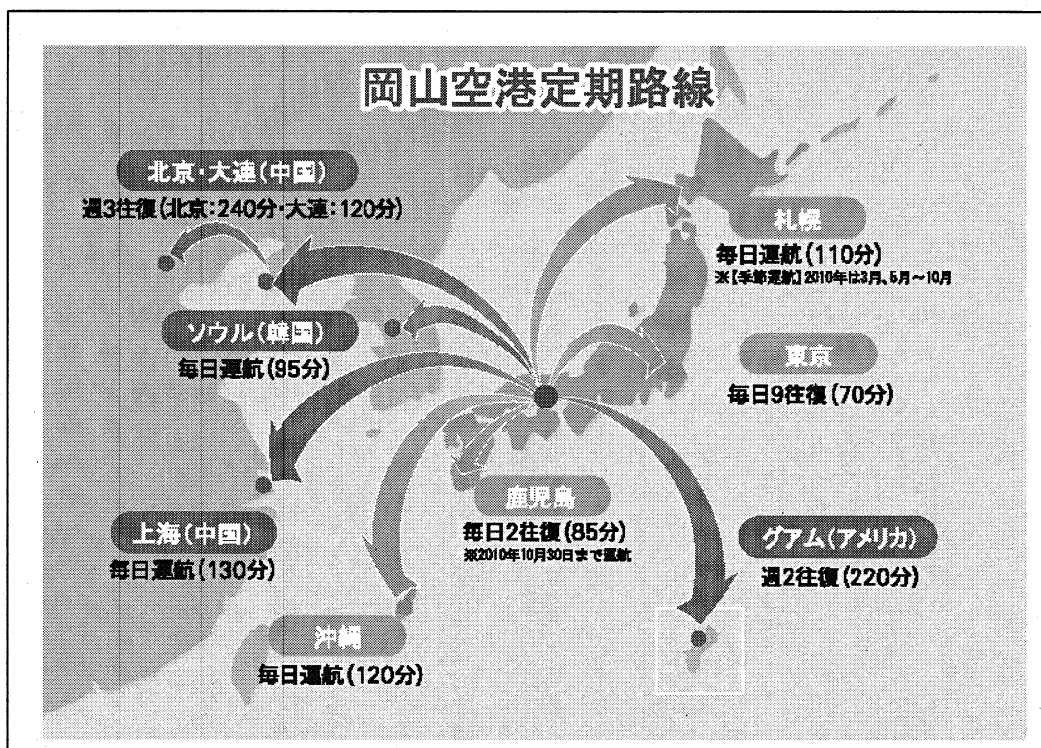
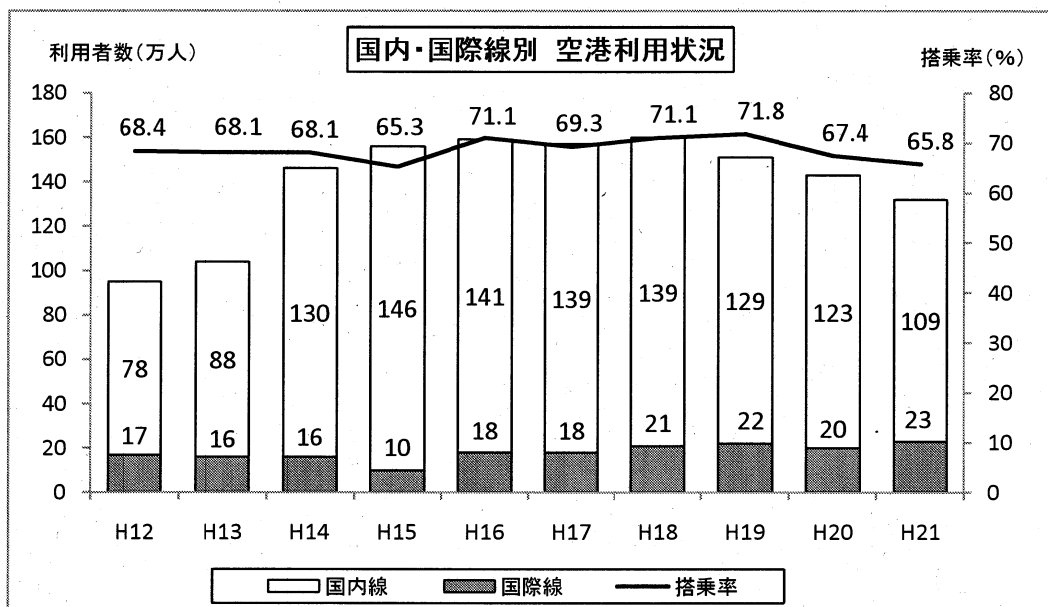
(1) 岡山空港

岡山空港は、地方管理空港では最も長い滑走路（延長3,000m）を有し、国内4路線、国際4路線の定期便が就航している。

岡山駅からはバスで30分、岡山ICからは車で10分と交通アクセスに優れており、全国でも最大規模の3,170台の無料駐車場との相乗効果で、周辺の各県からも多くの利用がある。

岡山空港の利用者は平成13年に100万人／年を突破し、平成20年12月には開港以来の利用者数が2,000万人に達した。

●国内・国際線別空港利用状況

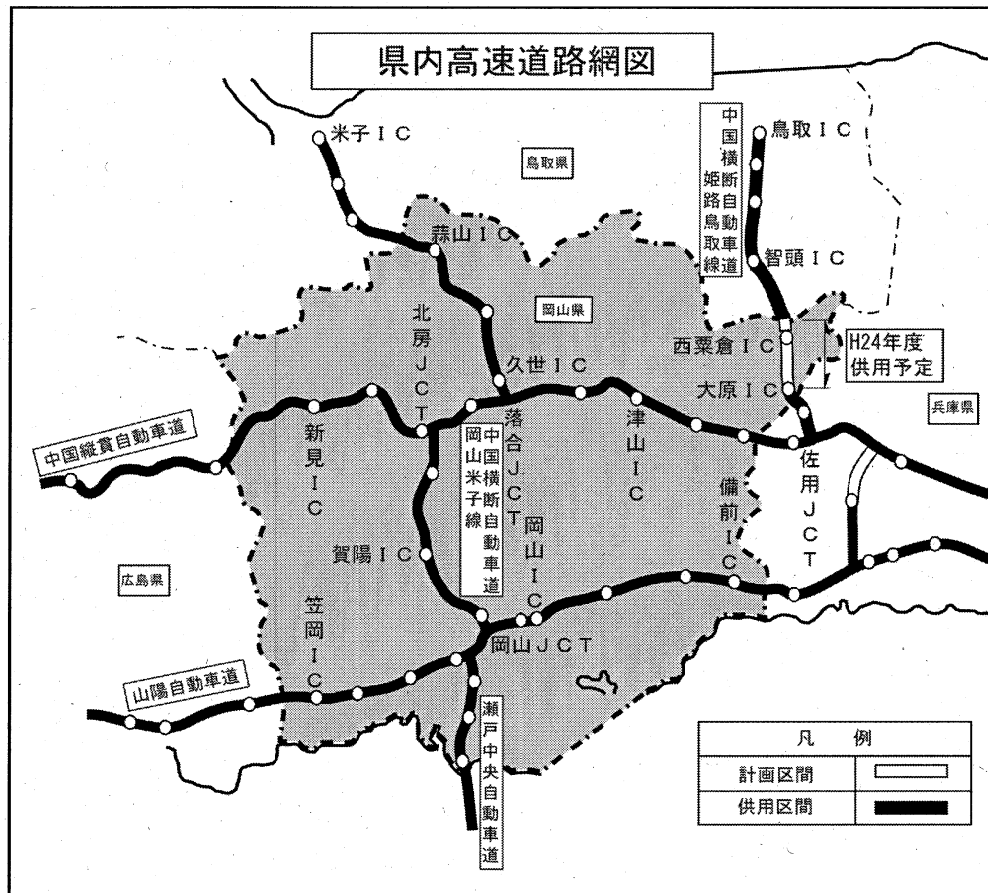


(2) 高速道路網

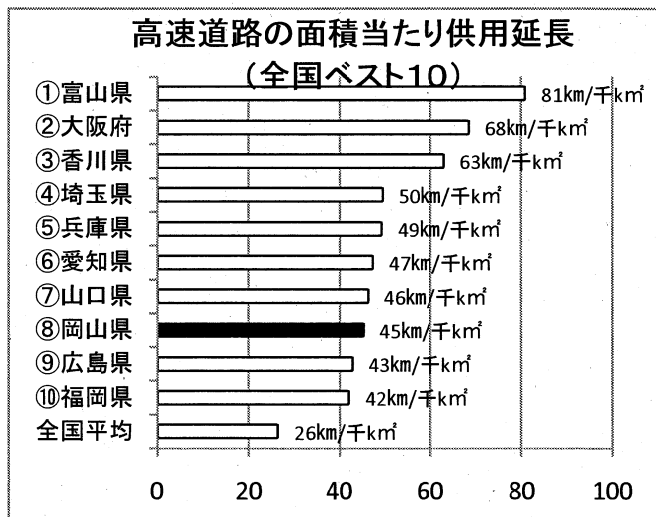
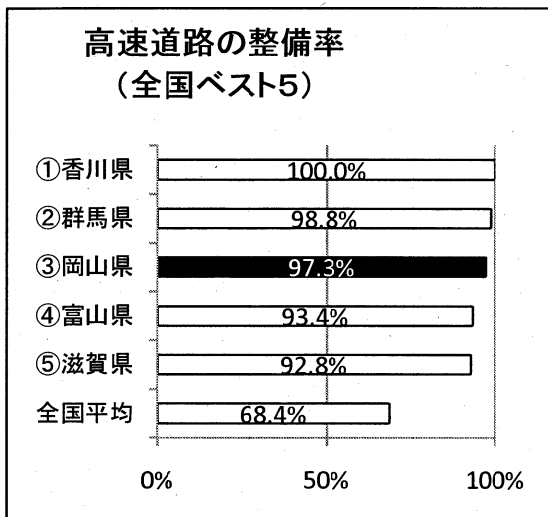
県内の高速道路は、これまでに中国縦貫自動車道、山陽自動車道、中国横断自動車道岡山米子線、瀬戸中央自動車道が開通しており、全国的にも整備の進んだ地域である。

残る中国横断自動車道姫路鳥取線も、平成24年度に供用予定と公表されており、当路線が開通すれば、県内の高速道路の整備率は100%に達することになる。

また、中国横断自動車道岡山米子線では、岡山JCT～賀陽IC間が本年度、落合JCT～蒜山IC間が平成23年度の完了を目指して4車線化工事が進められていることから、今後一層、高速道路の利便性は高まっていくものと考えられる。



【県内の高速道路の整備状況】 計画延長:326.5km 供用延長:317.7km 整備率:97%



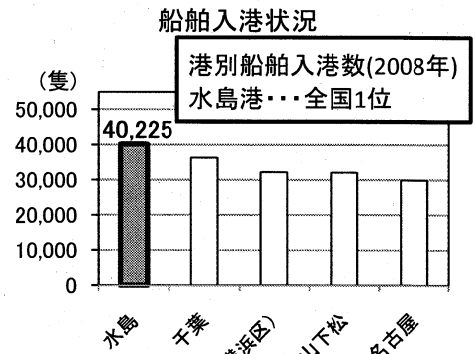
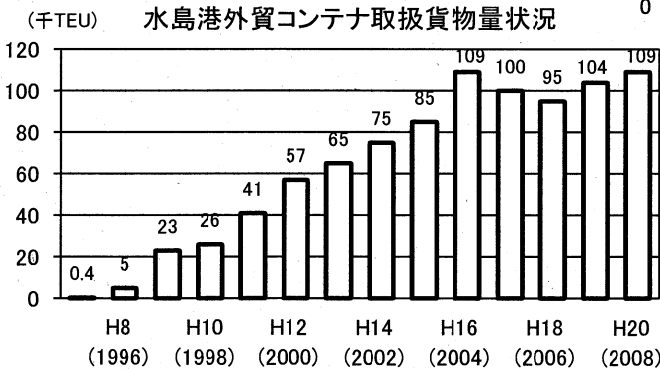
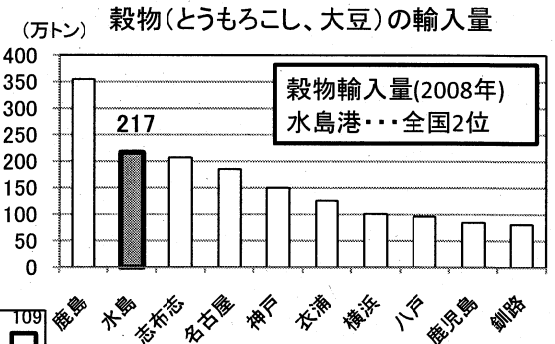
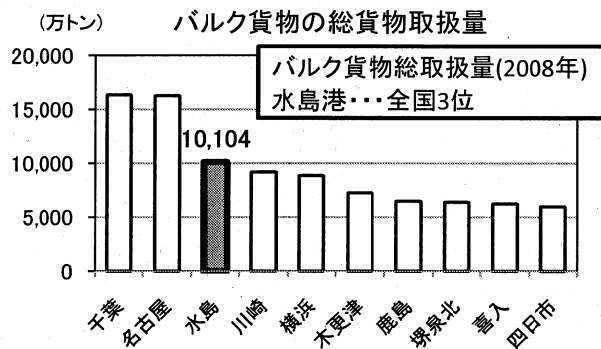
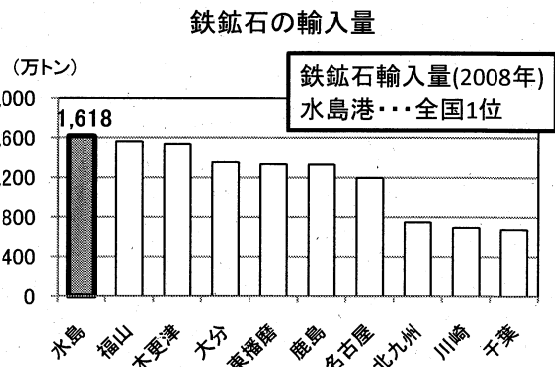
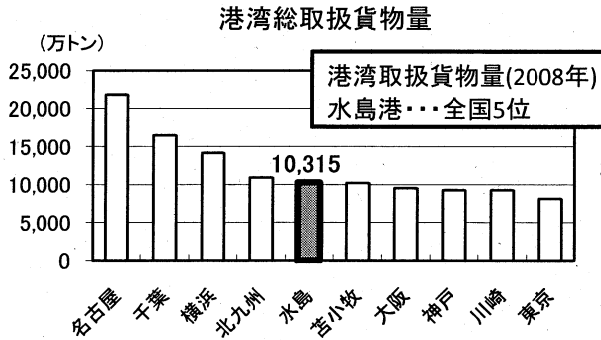
※上表記載の数値は、平成22年5月1日現在のもの。

(3) 水島港

水島港は、全国でも屈指の規模を誇る水島コンビナートを背後に控え、港湾総取扱貨物量は全国第5位（中四国エリアでは1位 2008年）、中でも鉄鉱石輸入量は全国第1位（2008年）、穀物（とうもろこし、大豆）輸入量は全国第2位（2008年）、バルク貨物の総取扱量では全国第3位（2008年）となっており、全国屈指のバルク貨物取扱港湾である。

水島港の外貿コンテナ貨物についても、水島港国際コンテナターミナルを全国に先駆けて民間事業者に一体的・長期的に貸し付けたこと等により、2004年以降、10万TEU/年 前後の取扱量を維持している。

また、船舶入港隻数は、40,255隻/年（2008年）であり、全国第1位となっている。



○水島港 外貿定期コンテナ航路(2010年7月現在)

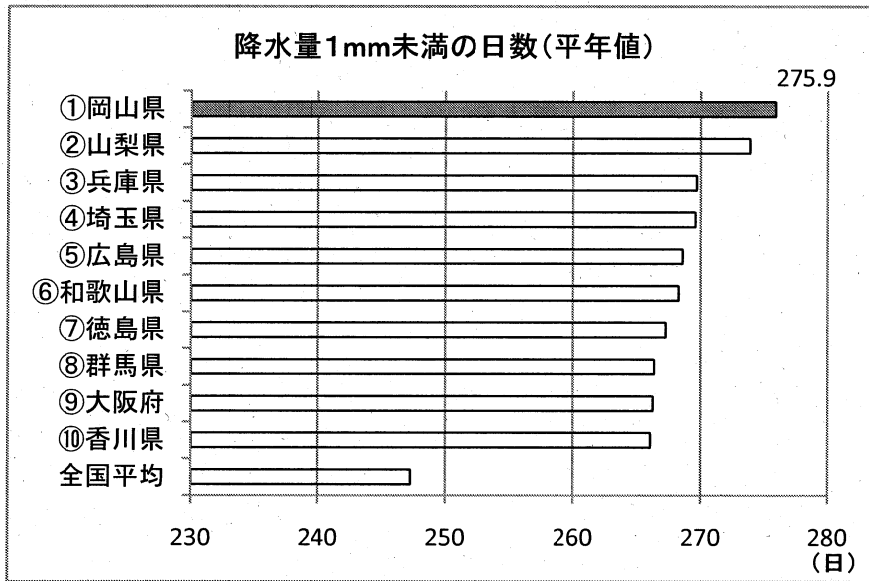
(3カ国1地域10航路 14便/週)

- ・韓国航路(釜山、仁川、蔚山) — 6便/週
- ・中国航路(大連、天津、青島、上海、寧波、福州、厦門) — 7便/週
- ・ベトナム航路(ダナン、ホーチミン、基隆、台中、麦寮郷、高雄) — 1便/週

2 温暖な気候に恵まれた暮らしやすい「晴れの国」

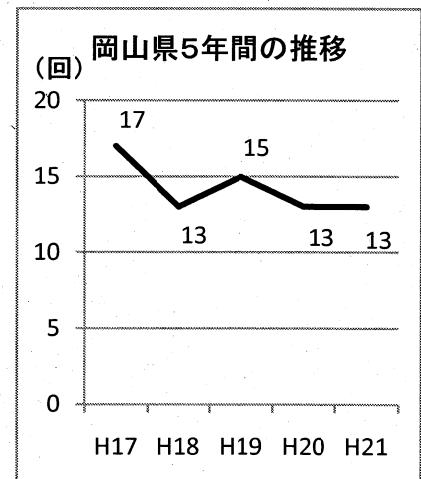
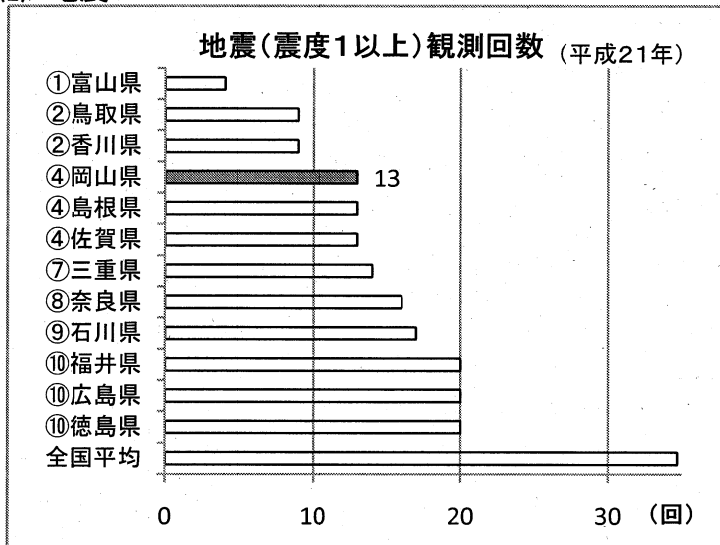
本県は、降水量1mm未満の日数が全国第1位を誇る「晴れの国」であり、温暖な気候に恵まれているほか、地震や自然災害も比較的少ない。

(1) 降水量



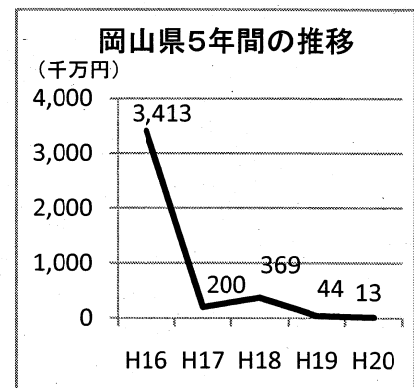
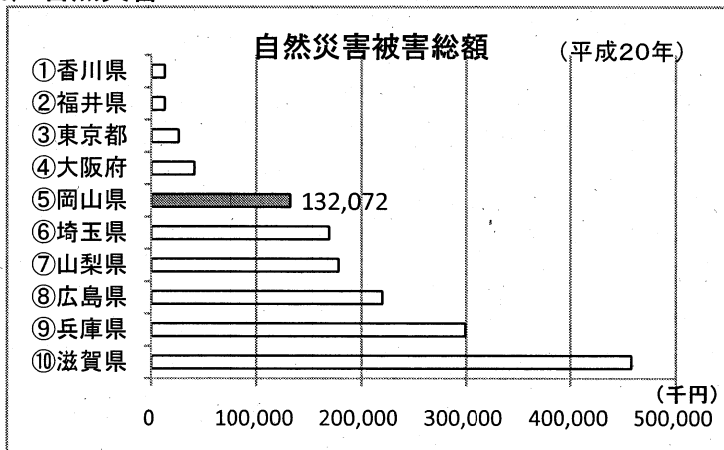
(気象庁「全国気候表」)
 (現在の平年値は
 S46~H12の30年間
 の平均値)

(2) 地震



(気象庁「地震・火山月報」)

(3) 自然災害



(消防庁「消防白書(平成21年版)」)

3 ものづくりをはじめとした優れた産業集積

(1) 水島地区

水島コンビナートは、石油精製能力全国3位、エチレン生産能力全国3位、粗鋼生産量全国3位の我が国有数の規模を誇るコンビナートであり、企業間連携による生産効率化への先駆的取組や高付加価値型素材の生産などの国際競争力強化に向けた取組が行われている。



また、三菱自動車水島製作所では、平成20年6月から、世界初となる量産市販型の電気自動車(EV)の生産を開始した。県では、走行中に二酸化炭素を発生せず、高い二酸化炭素排出削減効果が見込まれ、究極のエコカーとされる電気自動車の普及に向け、各種施策を講じている。

電気自動車(EV)の普及促進

電気自動車導入補助事業

- 県内に1年以上居住する個人、県内に1年以上事業所等を有する事業者、及びこれらの者に貸与するリース事業者で電気自動車を導入する者に、20万円/台を補助(70件)

電気自動車体験カーシェアリング事業

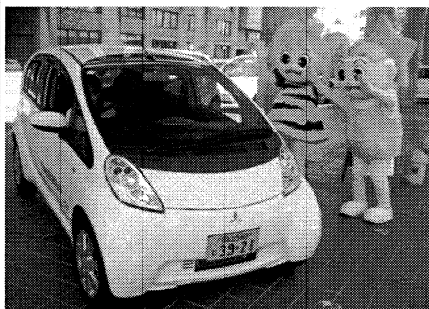
- 県公用車(電気自動車)を活用し、休日に、県民の方に電気自動車試乗体験していただく事業を実施。(本庁配備5台で実施)

電気自動車充電装置整備補助事業

- 駐車場(利用者を特定しない駐車場)に、200V以上の充電設備を設置する者に対し、設置工事費の1/4を補助(上限10万円、50件程度)

EVサポートメンバー制度

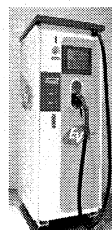
- 電気自動車の充電に協力していただける事業者等を募集、登録し、県HPで公表する。
(メンバーには充電場所を示すプレートを交付)



倍速
充電装置



急速
充電装置



(2) 繊維製品 (生地・アパレル製品)

地域の雇用に大きな役割を果たしている繊維産業の再生を目指し、「繊維産業ルネサンスプロジェクト」に取り組んでいる。プロジェクトにおいては、商品化の研究・試作、販売力の強化、繊維産業を支える人材育成、産地が一体となったPR、県内繊維関連団体の連携促進を進めている。

コスト競争によらず、高付加価値製品の開発やブランド力の強化により、低価格の海外生産製品との差別化に取り組んでいる。

【取組1】

繊維関係企業や産業支援機関における国の事業やきらめき岡山創成ファンド支援事業を活用した商品開発、販路開拓

・天然藍染めジーンズ



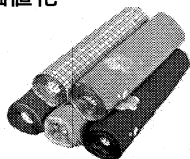
・グラデーションデニム



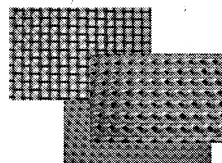
【取組2】

工業技術センターによる技術支援

・染料の浸透性制御による
繊維製品の高付加価値化

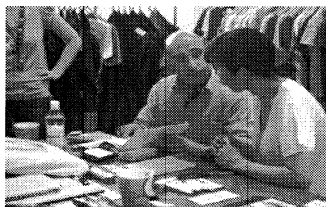


・四軸織物



【取組3】

海外展示会への出展支援



<ベルリン ブレッドアンドバターへの出展風景>

(参考数値)

○主な繊維製品の全国シェア

(単位:百万円)

製品	出荷額			
	岡山県A	全国B	シェアA/B	全国順位
男子学生服	32,832	41,218	79.7%	第1位
女子学生服	7,867	20,279	38.8%	第1位
事務用・作業用・衛生用衣服	33,642	98,426	34.2%	第1位
綿広幅系染織物	3,508	7,320	47.9%	第1位



※平成20年工業統計調査

○製造品出荷額等

(単位:百万円)

項目	岡山県			全国		
	繊維工業A	県内シェアA/B	県計B	繊維工業C	全国シェアA/C	全国順位
事業所数	704	16.9%	4,173	19,847	3.5%	第8位
従業員数	16,257	10.5%	154,950	347,720	4.7%	第4位
製造品出荷額等	316,285	3.6%	8,716,251	4,687,733	6.7%	第3位

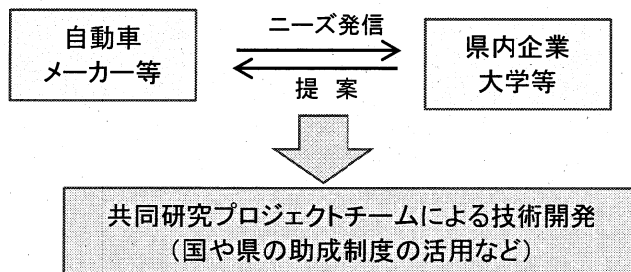
※平成20年工業統計調査

(3) ミクロものづくり岡山

県内の優秀な精密生産技術の集積を生かし、関連企業、支援機関等からなるネットワークの強化、岡山ならではの技術を創出する研究開発の推進等により、ものづくりの高度化を支援するとともに、ミクロものづくり岡山のブランド化を図り、本格的な産業クラスターの形成を進めている。

〔取組1〕

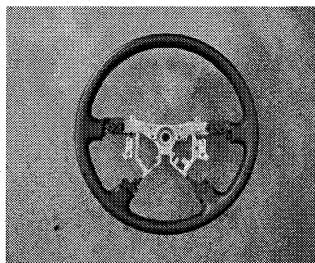
○岡山県次世代自動車関連技術研究会（H20.7設立）



〔取組2〕

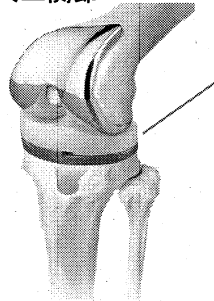
○岡山版産業クラスターで実用化された技術

ハンドルのリサイクル技術



マグネシウム合金と有機物との分離技術の開発

人工関節



ビタミンE添加
摺動部材

- ・長期使用可能(再手術不要)。人体組織を模した表面形状の人工関節
- ・国の先端医療開発特区(スーパー特区)に採択(H20年11月)
- ・ビタミンEの添加によって耐久性を高めた人工膝関節について、H21年8月に国の製造販売承認を取得し、H22年2月から販売開始

〔取組3〕

技術の高度化や技能伝承を図るため、県内企業と協働でテーマを設定しながら、大学等の協力を得て、研修やセミナー(ミクロものづくり大学)を開催するとともに、平成21年度から出前講座を開催し、多くの企業から参加を得た。

(参考)

ミクロものづくり大学・出前講座参加者数	H20	H21	増減
	880	1,120	240

〔取組4〕

○航空機関連産業の振興

自動車の100倍の部品数となる航空機産業は部品製造業への効果が大きく、今後成長見込まれる産業である。県としては、優秀な精密生産技術を有する国内の航空機産業をクラスターとして定着させるため、航空機部品製造業の競争力強化に努めている。

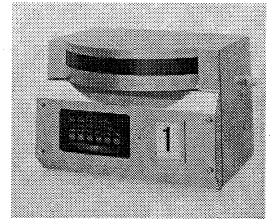
ウイングウイン岡山(航空機部品の共同受注をめざす連携組織 28社参加)

マイクロものづくり岡山から生まれた技術・製品の例

<新たに開発された技術・製品>

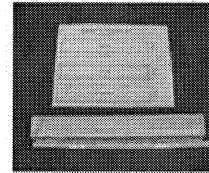
① 空間殺菌装置

- ・弱酸性次亜塩素酸水溶液の微細粒子を安定的に霧状化する技術
- ・空中浮遊微生物の殺菌、悪臭成分の消臭に活用
- ・卓上用霧化器と巡回噴霧式霧化器の2機種を販売



② マグネシウムのリサイクル技術

- ・従来廃棄されていた自動車部材のマグネシウム合金のリサイクル化に成功
- ・レーザ照射によりマグネシウム合金上から有機物等を分解・除去する技術
- ・H21年度ものづくり中小企業製品開発等支援補助金（試作開発等支援事業）により実用化を検討



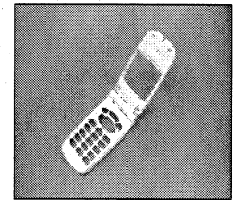
インゴット



チップ

③ マグネシウム合金（携帯電話ボディ）※下記⑤の改良

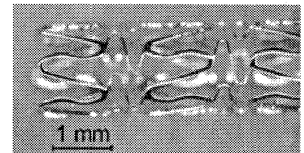
- ・耐食性を現行品の10倍以上に改善
- ・導電性の付与により帯電防止を実現
- ・共同研究企業において携帯電話のボディの量産化を予定



<これまでに開発された技術・製品>

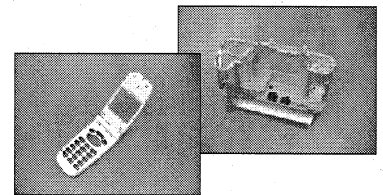
④ 冠動脈用高性能ステント

- ・しなやかさと高強度を実現する形状設計
- ・国の先端医療開発特区（スーパー特区）に採択（H20年11月）
- ・H22年1月からヨーロッパで販売開始



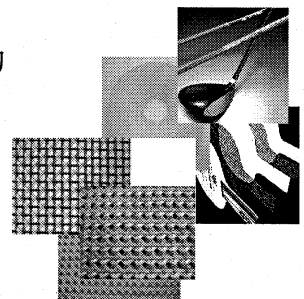
⑤ マグネシウム合金（携帯電話ボディ）

- ・世界初！陽極酸化皮膜により導電性を実現
- ・「第1回ものづくり日本大賞 優秀賞」受賞（H17年8月）



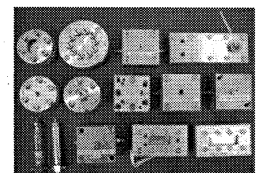
⑥ 四軸織物

- ・世界初！タテ、ヨコ、及び2方向のナナメ糸から成る四軸織物
- ・「第2回ものづくり日本大賞 中国経済産業局長賞」受賞（H19年8月）
- ・樹脂を含浸させた複合材料の強度特性を評価し、航空機部材等への展開を検討中



⑦ マイクロリアクター

- ・都市エリア産学官連携促進事業により産学官連携で推進
- ・事業化に向け岡山マイクロリアクターネットを設立（H20年3月）
- ・きらめき岡山創成ファンド支援事業（県の補助事業）により実用化を支援（H21年度1件採択）



(4) おかやまグリーンバイオ・プロジェクト

木くずなど、食料と競合しないセルロース系バイオマス資源を、高機能で付加価値の高い新素材や石油代替性のあるバイオ燃料として利用するため、環境負荷の低い新エネルギーを利用し、安価で効率的にナノレベルまで超微粉碎する技術や製品化への応用技術の開発を推進している。

また、複数の大学、公設試等が連携した共同研究を推進し、先端的技術開発の拠点形成を目指している。さらに、カナダ自動車団体との交流、県内大学のコンテンツ研究シーズを生かした戦略的情報発信やE10社会実験の実施により、県内外の有力企業、研究者とのさらなるネットワーク拡大、県民理解の醸成に努めている。

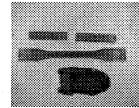
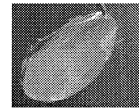
なお、岡山県を代表機関とする関係12機関が共同で提案を行った「森と人が共生するSMART工場モデル実証」が、文部科学省の競争的資金（平成22年度科学技術振興調整費）の採択を受けたことから、平成22年度から5年間の計画で、再生可能エネルギーを利用し、林地残材等の森林資源から高機能なバイオマス製品を生産するための技術開発と社会導入に向けた実証を行っている。

岡山グリーンバイオ・プロジェクト推進事業 事例一覧

(H21)

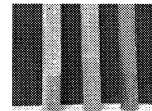
【製品・材料開発】

- ・新機能セルロースカーボネード開発
(岡山大学自然科学研究科)
- ・セルロース系バイオマスプラスチック製耐熱性食品容器開発
(倉敷芸術科学大学 岡田教授、立花容器(株))
- ・セルロース系繊維とプラスチックの複合材料開発
(オーティス(株)、近藤ライト工業(株)等)
- ・木粉とプラスチックとの混合原料によるブロー成型品開発
(株)メイト、みのる化成(株))



【微粉碎助剤開発】

- ・セルロース微粉碎を促進するための有機化学助剤の開発
(岡山大学自然科学研究科)
- ・機械的微粉碎処理の効率化のための生物的前処理の開発
(岡山大学農学部)



(H20)

【施設整備】

- ・バイオマス資源集積基地
(真庭木材事業協同組合)



【製品開発】

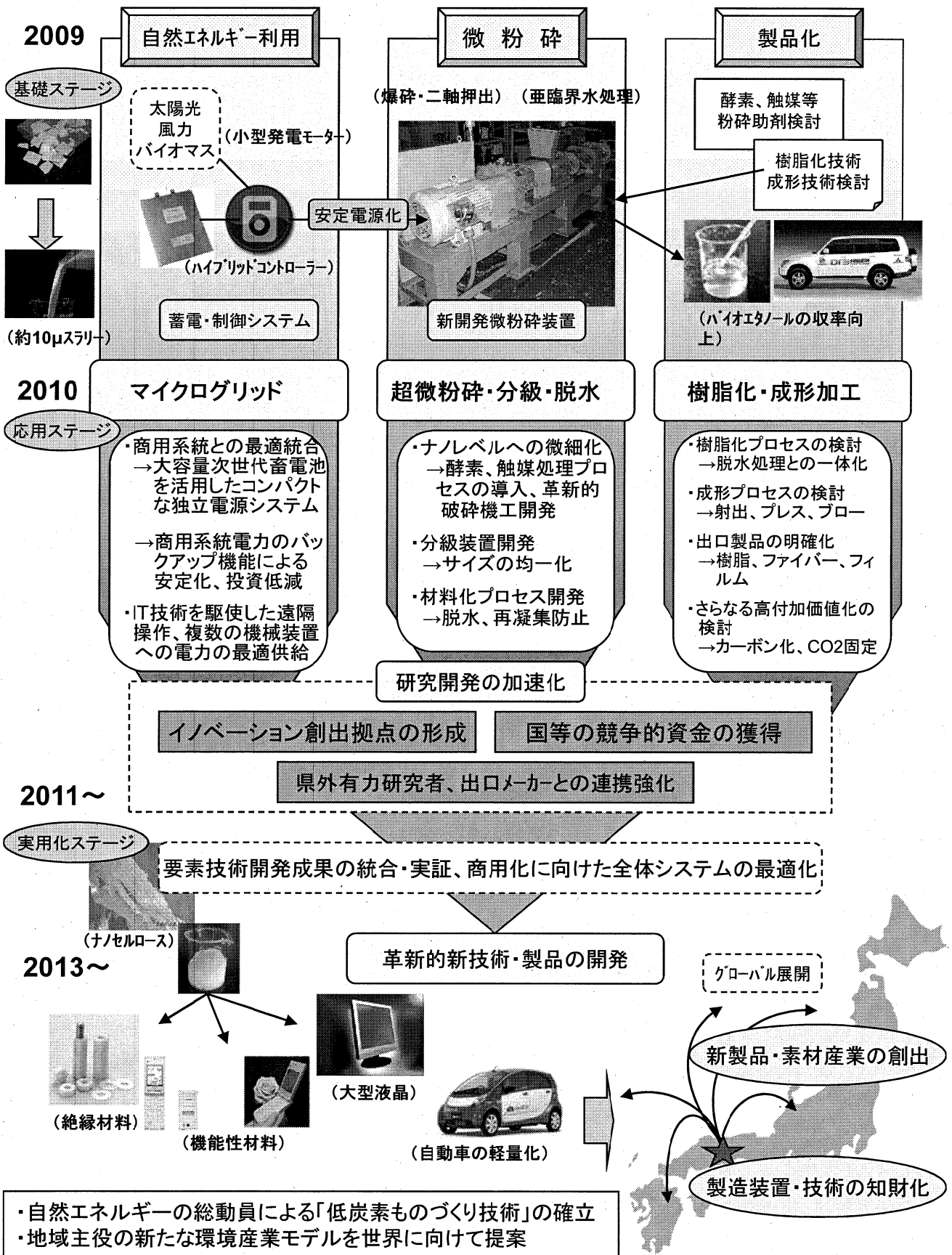
- ・バイオマスプラスチック製自動車用座席の開発 (難波プレス工業(株)、長瀬産業(株))
- ・セルロース系バイオマスプラスチック製耐熱性食品容器開発
(倉敷芸術科学大学、立花容器(株))
- ・ポリ乳酸の耐加水分解性付与技術 (岡山大学、クラレ(株))
- ・バイオマスプラスチック製プラスチックマグネット (株)メイト等)

(H19)

【製品開発】

- ・バイオマスプラスチック製ブロー成形内装材の開発 (みのる化成(株)、児島機工(株))
- ・ポリ乳酸製射出成形自動車部品の開発 (クラレ(株)、水菱プラスチック(株))

グリーンバイオ・プロジェクト推進事業



(5) 医療・福祉分野産業クラスターの形成

県内大学の医療系シーズ・シーズと、県内理工系大学の技術シーズや県内ものづくり企業の技術を連携・融合することにより、新たな医療産業や医療系ベンチャーの創出を促進する「メディカルテクノバレー構想」を推進している。

また、県内の産学官民で構成する福祉用具開発支援組織「ハートフルビジネスおかやま」のネットワークを通じて、利用者ニーズを反映した福祉用具の開発を促進している。

〔取組1〕

メディカルベンチャーの創出

本県の優れた医療系シーズの事業化を担うベンチャーの創出を図るため、平成20年度に設立したメディカルベンチャー・ネットにおいて、ビジネスモデルの確立や国の競争的資金の獲得支援などを行っている。

(参考)

メディカルベンチャー・ネット会員数	H20	H21	増減
	12	16	4

〔取組2〕

医療機器分野の「ものづくり」企業の育成

医療機器に関連する企業・団体の連携により、ものづくり企業の医療機器分野への参入を促進している。

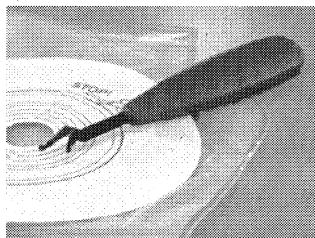
- ・メディカルものづくりシーズ・ニーズの情報交換会(H21:8回開催)

〔取組3〕

メディカルテクノおかやまの運営支援

県内大学の医療シーズ・ニーズと、大学の技術シーズや県内ものづくり企業の技術を連携・融合することにより、医療産業及び医療系ベンチャー企業の創出を目指している。

- ・コーディネータによる産学官のネットワークの構築・強化
- ・シーズ・ニーズの発表・交流機会の提供
- ・メディカルおかやま開発成果例



ストーマ装具専用
フレンジカッター

〔取組4〕

ハートフルビジネスおかやまの活動支援

産学官民の連携組織「ハートフルビジネスおかやま」を核として、利用者ニーズの収集、発信及び製品評価の実施、大型展示会への共同出展等を実施し、UDの視点に立った商品開発、販路拡大を支援している。

- ・開発・改良製品(H21:累計28)

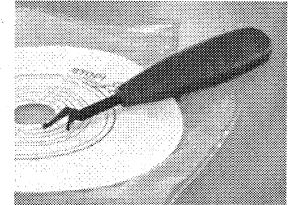
メディカルテクノおかやま開発成果

平成22年3月31日現在

○ ストーマ装具専用フランジカッター【製品化】

人工肛門患者が、自分に合った大きさに装具に穴を開けやすいカッター
(平成17年度共同研究委託事業)

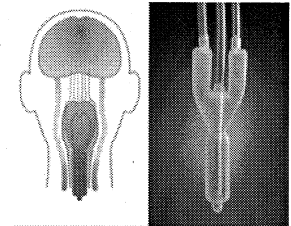
- ・ 岡山大学、岡山県工業技術センター、マイクロものづくりセンター、(有)坪田工作所、デザイン・モリ
- ・ 平成18年に製品化



○ 咽頭冷却による選択的脳冷却用カフ【製品化】

心臓停止患者の脳ダメージを軽減するために、脳を効率的に冷却する風船
(平成18年度共同研究委託事業)

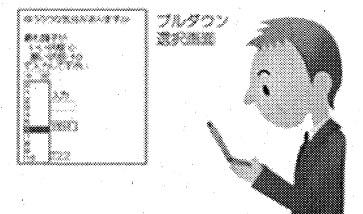
- ・ 岡山大学、大研医器(株)
- ・ 平成19年に製品化→H21年6月より臨床試験を実施中



○ 携帯電話を利用したリアルタイム遠隔収集システム【製品化】

患者のストレス度などの情報を、携帯電話を利用して収集し、医師の診断に役立たせるシステム

- (平成17年度共同研究委託事業)
- ・ 岡山大学、(株)NTTドコモ中国、(株)テックス岡山営業所
- ・ 平成20年11月から販売



○ 空気圧ゴム人口筋を使用した足指

／足首関節稼動域改善装置【試作品】

足が不自由な人を立ち上がらせることができる、介護補助、リハビリ装置
(平成20年度共同研究委託事業)

- ・ 岡山大学、(株)コスモ情報システム
- ・ 実用化に向けて改良中



○ う蝕・歯周病予防効果を有する歯質コーティング材【開発中】

CPC(抗菌剤)と、ドラッグデリバリー物質を組み合わせた新規口腔ケア剤。
(平成17、18年度共同研究委託事業)

- ・ 岡山大学、(株)クラレメディカル
- ・ H21年度若手研究者ベンチャー創出推進事業(JST)に新規採択。

○ 夜尿症患児に対するアラーム付きトレーニングパンツ【開発中】

患者の就寝中に尿をセンサーで感知して知らせるパンツを用いて、夜尿症の矯正に役立てる。
(平成20年度共同研究委託事業)

- ・ 岡山大学、ダイヤ工業(株)

○ バイオフィルム形成阻害剤スクリーニング用マイクロデバイス【開発中】

バイオフィルム感染症を防ぐため、バイオフィルム形成阻害剤をリアルタイムで大量にスクリーニング可能なデバイスを開発中。

- (平成20年度共同研究委託事業)
- ・ 岡山大学、協和ファインテック(株)

メディカルテクノバレー構想の全体像

現状と課題

- 全国トップレベルの医療研究水準
 - ・遺伝子治療、再生医療 など
- ナノバイオ標的医療プロジェクト(岡山大学)
 - ・革新的ながん医療技術の創出
 - ・最大10年間の国庫助成(事業費5~10億円)
- メディカルテクノおかやまの設立(H17.4)
 - ・280の会員が参加(うち企業会員81)
 - ・産学共同研究の推進(新製品の開発) など
- メディカルネット岡山の設立(H19.8)
 - ・県内ものづくり企業33社が参加
 - ・医療機器に関する制度、事例研修等を実施

【医療産業シーン】 流出・ミスマッチ

- 先進的シーズの多くはナノバイオテクノロジー
- メディカル系シーズの多くが県外企業に移転
- 医療分野に参入している県内企業は少ない
 - ・医療機器での薬事法の許可企業数は34社
- 医薬品・医療用具生産額は全国で中位
 - (H19薬事工業生産動態統計年報)
 - ・医薬品 全国シェア70.64%(30位、中四国3位)
 - ・医療機器 全国シェア70.81%(24位、中四国3位)

医療先進県にもかかわらず
医療産業は未確立

フェーズ1 <概ね5年以内>

【戦略Ⅰ】 地学地産型の医療産業集積

- ①先進的なシーズを事業化するMVの支援
 - ・岡山関連メディカルベンチャーのネットワーク化
 - ・ベンチャーのFS調査の支援 など
- ②新たなシーズの発掘と育成
 - ・ナノバイオテクノロジー関連基礎研究の支援 など

【戦略Ⅱ】 メディカルものづくりの推進

- ①医療現場のニーズの収集・発信
 - ・メディカルものづくりマッチングの推進
- ②医療機器関連取引の拡大支援
 - ・メディカルネット岡山の活動支援
 - ・県内医療産業関連団体が一体となった情報発信

【医療産業シーン】 創出・育成

- 世界に通用するMVが創出・集積
 - ・標的医療関連シーズ(がん抑制遺伝子等)
 - ・バイオ人工膵臓・肝臓、人工網膜 など
- 医療現場のニーズに応えるものづくりが進展
 - ・実験機器、患者支援機器、試作品 など
- 県内ものづくり企業の医療機器受注が拡大
 - ・大手医療機器メーカーからの共同受注 など

医療先進県の先進性を生かした
目に見える形での医療産業集積

フェーズ2 <概ね10年後>

【戦略Ⅰ】 さらなる地学地産戦略

- ①メディカル系知財対策の充実
- ②メディカルものづくりコンソーシアムの創設

【戦略Ⅱ】 ターゲットを絞った集積戦略

- ①岡山関連MVと県外企業との連携支援
- ②メディカル関連の研究開発企業の誘致

【医療産業シーン】 集積・拠点化

- 多くの医療関連企業が進出・集積
 - ・MV拠点を核とした研究開発系企業の集積
 - ・新規製薬(遺伝子治療、DDS関連)企業の創出など
- 多くの県内企業が医療分野で主体的に活動
 - ・ものづくり技術を生かした医療機器開発 など

中四国の医療産業拠点としての
メディカルテクノバレーが実現

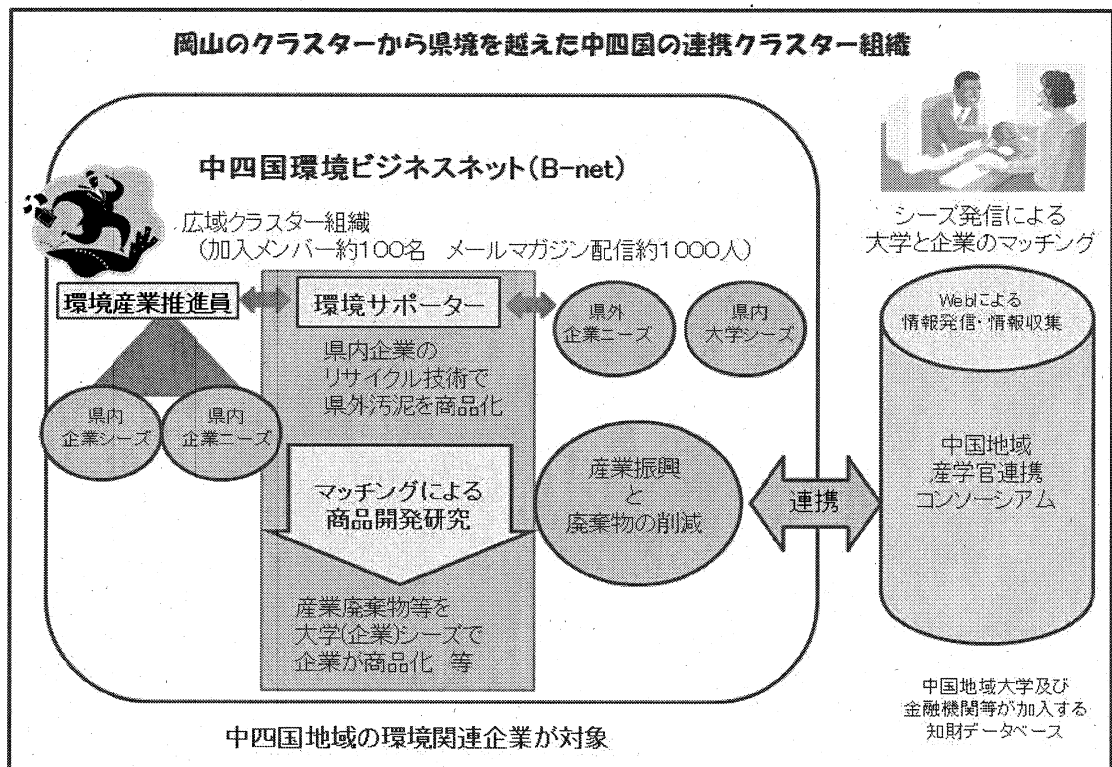
(6) 循環型産業クラスターの形成

循環型社会の形成促進と県内環境産業の振興を図るため、「中四国環境ビジネスネット」を通じて、企業や大学等の技術シーズと企業ニーズのマッチングに取り組むとともに、産業廃棄物等を利活用する新技術・新商品の研究開発、事業化等を支援している。

〔取組1〕

中四国環境ビジネスネット(B-net)事業

岡山県産業振興財団内に設置した環境サポーター、環境産業推進員が県内企業を訪問し、ニーズ・シーズ情報を収集するほか、ホームページを活用した広域での企業情報の収集、岡山大学が代表機関として推進する中国地域産学官連携コンソーシアム（さんさんコンソ）と連携した大学発のシーズ情報の収集を行い、県内企業ニーズとのマッチングを推進している。



平成21年度実績: 17件

〔取組2〕

地域ミニエコタウン事業

産業廃棄物等の利活用について、従来の技術、システムと比べて新規性・モデル性があり環境への負荷の低減について大きな効果があるなど、循環型社会の形成を推進すると認められる先進的なリサイクル関係施設の整備や新技術の開発等の事業化を支援している。

- ・平成16年度～21年度で22件の技術開発等（12件）、施設整備（10件）に対し補助を実施。補助総額 335,684千円

〔取組3〕

おかやま新環境技術アセスメントシステム事業(おかやまNetas)

新たに開発された特長のあるリサイクル素材等について、公共工事や農林関係の試験場において試験的に利用し、評価検証を行い、市場形成に努めている。

- ・平成19年度～21年度で6件のリサイクル素材を選定。
- ・うち3件のリサイクル素材を県工事で試験利用。
(うち1件は評価検証を実施)

(7) 新たな産業分野の創出（電池関連産業）

今後の大きな成長が見込まれる太陽電池、燃料電池、二次電池の分野における新事業の創出を図るため、これら分野の進出に意欲のある企業、大学、産業支援機関などから成る研究会を立ち上げ、技術情報の提供や具体的な新技術開発プロジェクト等の創出に取り組んでいる。

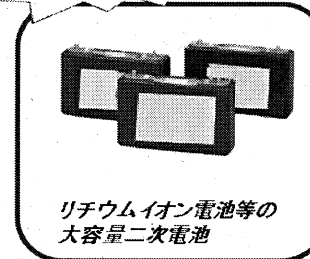
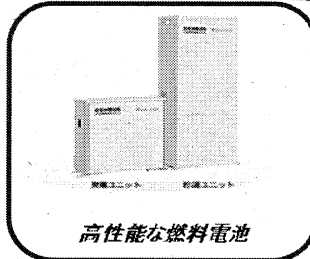
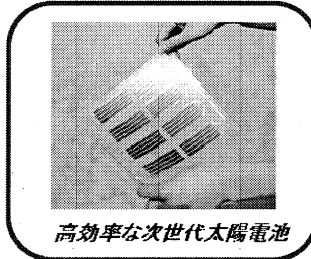
電池関連産業創出事業

電池関連産業創出に向けた戦略

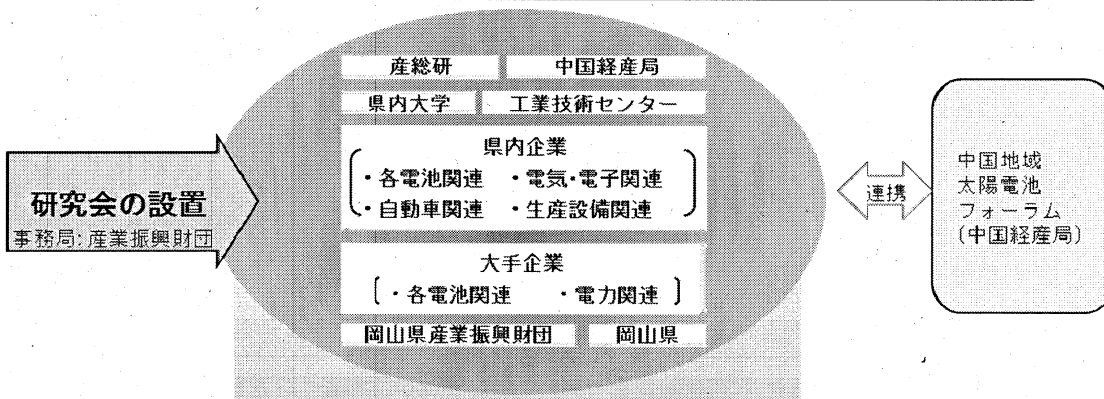
- 県内での電池関連産業の創出に向けた取組をスタート
- ・産学官による研究会の立ち上げ
 - ・県内企業の技術開発や大学等の基礎研究を推進
 - ・大手企業の生産拠点を誘致を視野に入れた取組の展開

岡山における電池関連産業の芽出しと産学官連携による育成

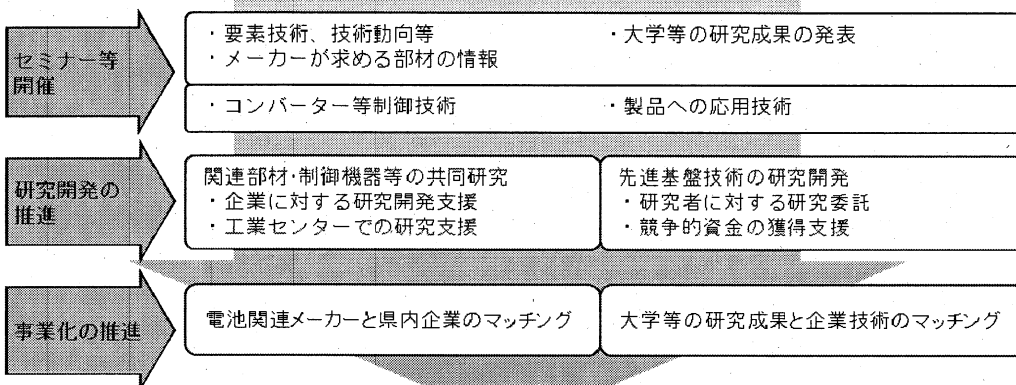
今後の成長分野として大きな期待



関連する制御技術、部材・材料、応用技術、製造装置等



岡山ならではの成功事例を創出し、電池関連産業を主要産業へと発展させる取組が必要

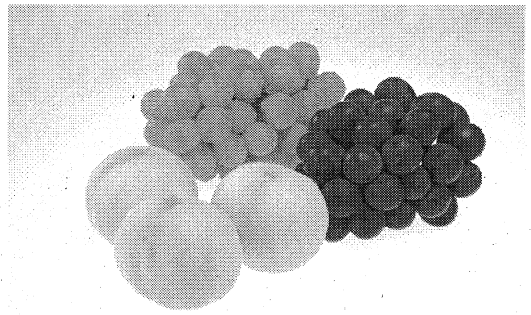


・県内企業による事業展開 ・生産拠点を誘致 ・グリーンインフラの地域展開

4 全国に誇る高品質の農林水産物

本県は、温暖な気候などを生かして中四国有数の農業県として発展してきた。中でも「くだもの王国おかやま」として、白桃、マスカット、ピオーネは全国一の生産量を誇っている。

これらに加え、おかやま黒豆、黄にら、朝日米、岡山かきなどが全国シェアの上位を占め、岡山を代表する産品となっている。

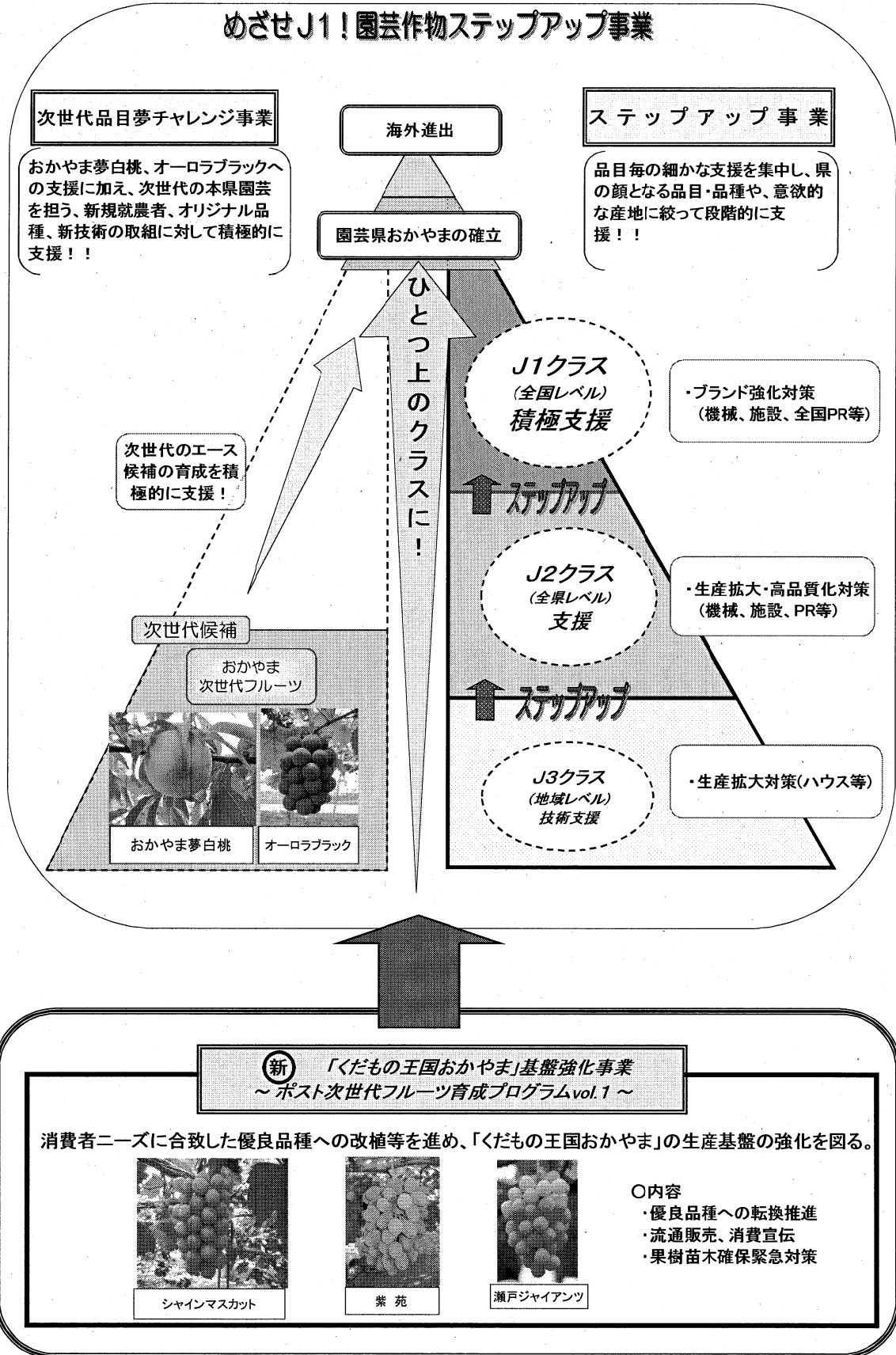


岡山県の主な農林水産物(全国シェア5位以内)

区 分	単位	岡 山 県	全 国 順 位	全 国 シ ャ ー (%)	全 国	調 査 年・年 度・年 産 資 料 名 等
ぶどう	ha (t)	1,230 (14,400)	5 (4)	6.2 (6.9)	19,800 (209,100)	平成19年産 農林水産統計
マスカット・オブ・アレキサンドリア	ha (t)	112 (1,550)	1 (1)	- (93.4)	120 (1,660)	平成20年産 県農産課調べ
ピオーネ	ha (t)	951 (10,800)	1 (1)	40.3 (43.2)	2,360 (25,000)	平成20年産 県農産課調べ
もも	ha (t)	714 (8,280)	5 (6)	6.4 (5.3)	11,100 (157,300)	平成20年産 農林水産統計
清水白桃	ha (t)	250 (2,900)	1 -	- -	427	平成20年産 県農産課調べ
愛宕梨	ha (t)	40 (530)	1 -	40.0 -	100	平成20年産 県農産課調べ ※平成19年産数値
黒大豆(丹波黒)	ha (t)	1,355 (2,060)	1 -	39.5 -	3,430 -	平成20年産 県農産課調べ
黄にら	ha (t)	16 (126)	1 (1)	69.6 (76.4)	23 (165)	平成18年産 県農産課調べ(隔年)
水稲(朝日)	ha (t)	3,540 (18,900)	1 -	100 -	3,540 -	平成21年 県農産課、農林水産省総合食料局調べ
二条大麦 (ビール大麦)	ha (t)	1,860 (6,510)	5 (5)	5.2 (5.6)	36,000 (115,500)	平成21年産 農林水産統計
ラークスパー	ha (千本)	1.9 (576)	2 (3)	15.8 (14.9)	12 (3,857)	平成20年 県農産課調べ
スイートピー	ha (千本)	6.4 (12,088)	3 (2)	10.7 (11.3)	60 (106,761)	平成20年 県農産課調べ 宮崎県農産園芸課調べ
ジャージー牛飼養頭数	頭	2,896	1	28.6	10,121	平成22年 中央畜産会調べ (平成21年数値)
まつたけ生産量	t	10.4	2	14.7	70.6	平成20年次 岡山県特用林産物生産流通統計
カキ収穫量 (むき身重量)	t	2,514	3	8.4	30,052	平成20年 漁業・養殖業生産統計年報

(1) 「おかやまブランド農林水産物」の育成

次世代を担う新規就農者である「ひと」、県オリジナル品種の「もの」、新たな技術、施設等の「わざ」づくりを一層進め、活力ある産地の育成に取り組むとともに、全国ブランドとなっている「おかやまブランド農林水産物」等の更なる充実と、市場等から信頼される新たなブランド品目・品種の効率的な育成に取り組んでいる。



(2) ブランド品目の情報発信と販路拡大

本県ならではの高品質で安全・安心な農産物等を「おかやまブランド」として広く消費者にアピールするため、関係団体と協働して首都圏や海外でのPR、販路拡大対策などに積極的に取り組んでいる。

首都圏での情報発信



22年度の取組

羽田空港 (羽田空港第1ターミナル)	東京ミッドタウン (港区赤坂)	新宿高野本店
岡山屋羽田店 7/23~8/8 (17日間)	おかやまフルーツ・ギャラリー 7/28~8/10 (14日間)	おかやまフェア(仮称)
<ul style="list-style-type: none"> ・全国に向けた情報発信力の強化 ・白桃やマスカット、ゼリー(白桃、ピオーネ、トマト等)等の宣伝、販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客力と話題性のある場所で、白桃やマスカット、ピオーネ等の県産果物と備前焼を組み合わせた展示、宣伝、販売 ・県産果物を使用した期間限定スイーツの販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・老舗果実専門店で、ぶどう(マスカット、ピオーネ、シャインマスカット)を中心とした県産農産物と加工品の宣伝、販売

東アジア等への輸出促進

これまでの取組	<台湾>	<タイ・バンコク>	<香港>	<その他市場調査>
	H18 (全農岡山の取組)	テスト輸出	—	—
	H19	◆「岡山屋」の設置		◆見本市出展(バンコク)
	H20	◆「岡山屋」の設置 - 2年目 - ・一定の評価定着		◆見本市出展(香港) ◆ロシア・モスクワでのテスト販売
	H21	—	◆「岡山屋」の設置 - 3年目 - ・輸送量の増 ・品目の拡大	◆ロシア・モスクワでのテスト販売 ◆マレーシア・クアラルンプールでのテスト販売

22年度の取組

* 東アジアを核に

1. 「岡山屋」の設置
～東アジアの拠点づくり～



タイ・バンコク
(7月29日～8月2日)
バンコク伊勢丹

・白桃、マスカット、ピオーネ等のPR・販

香港

〔白桃:7月30日～8月1日〕
〔ぶどう:9月24日～30日〕
シティスーパー

・白桃、マスカット、ピオーネ等のPR・販売
・系列の他店舗でもPR・販売



マレーシア・クアラルンプール
(8月6日～11日)
伊勢丹KLCC店

・白桃、マスカット、ピオーネ等のPR・販売
・知事によるトップセールス

2. 新たな販路の開拓
～有望市場の調査～

新

シンガポール
(8月3日～9日)
伊勢丹スコッツ店

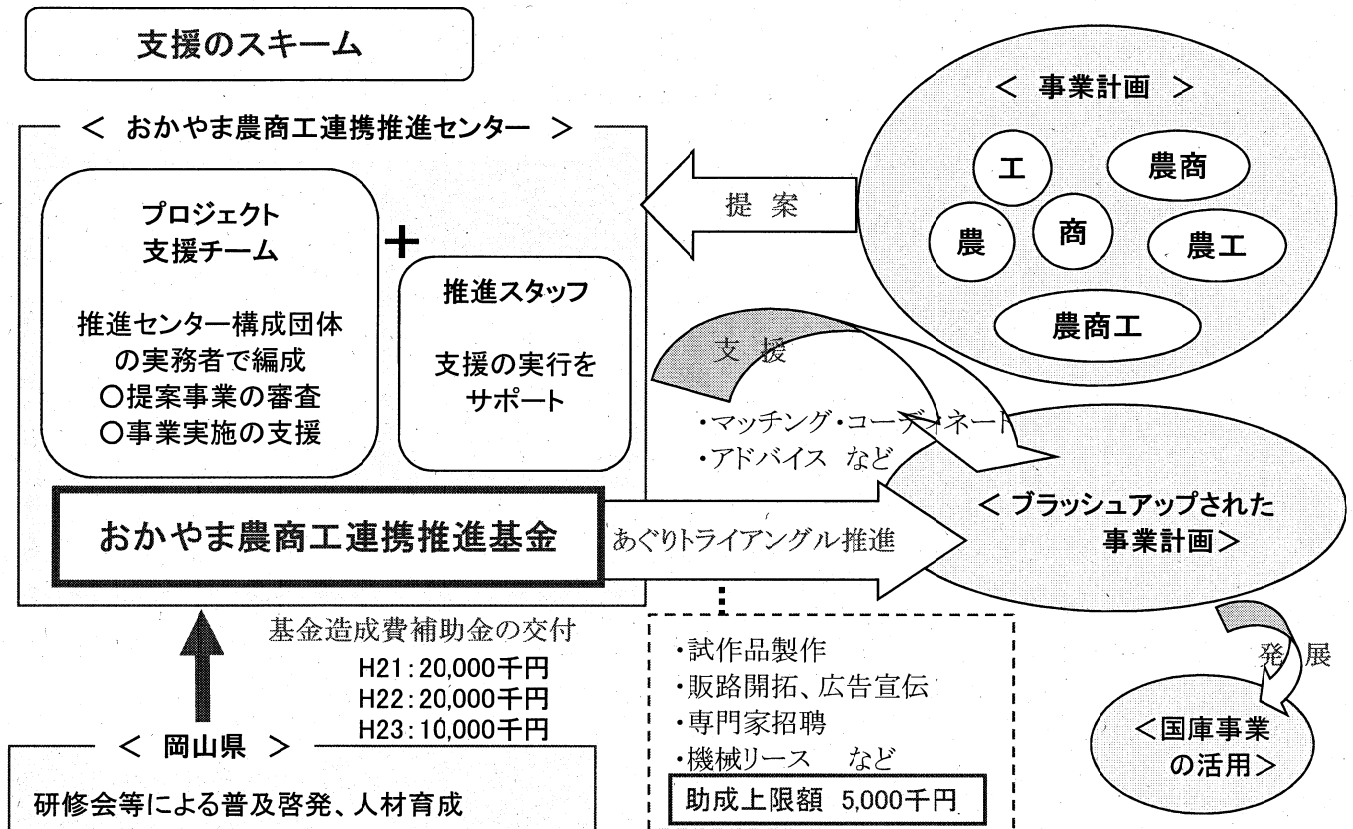
・白桃、マスカット、ピオーネ等のPR・販売
・知事によるトップセールス
・食品関係者等へのPR説明会の開催



(3) 農商工連携の推進

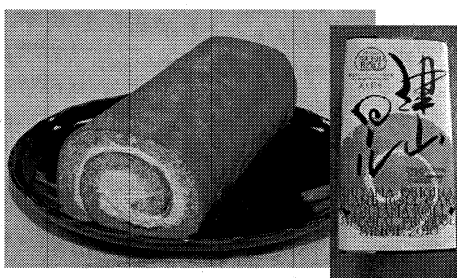
農林漁業者と商工業者がお互いの経営資源を持ち寄り、新たな商品やサービスの開発、販路の開拓等に取り組む農商工連携を推進することにより、農林水産業の振興と併せて地域経済の活性化にもつながる取組を進めている。

農商工連携の芽を育てる あぐりトライアングル推進プロジェクト



<参考>平成21年度採択事業

事業主体	所在地	事業内容
倉敷かさや農協生姜ハウス部会 丸倉青果(株)	倉敷市	未利用農産物(生姜の茎葉等)を活用した飲料・入浴剤の開発
北木島水産物開発協議会 (株)島のこし	笠岡市	瀬戸内の小魚を使った灰干しによる熟成干物の開発
阿新農協 (株)哲多すずらん食品加工	新見市	新見市特産物を使用したレトルトパスタソース及び生パスタの開発
(有)紫竹カントリー (有)大文字本舗、(株)くらや	津山市	津山産小麦と地域特産物を活用した新名物「津山ロール」の開発
ひるぜんワイン(有) 三幸食品工業(株) (株)グリーンピア蒜山	真庭市	蒜山高原産ヤマブドウ果汁を使用した炭酸飲料の開発及び販路開拓
新庄村ヒメノモチ生産組合 (株)メルヘン・ブラザ	新庄村	新庄村産の主要農産物であるモチ米(ヒメノモチ)を使用した新商品の開発

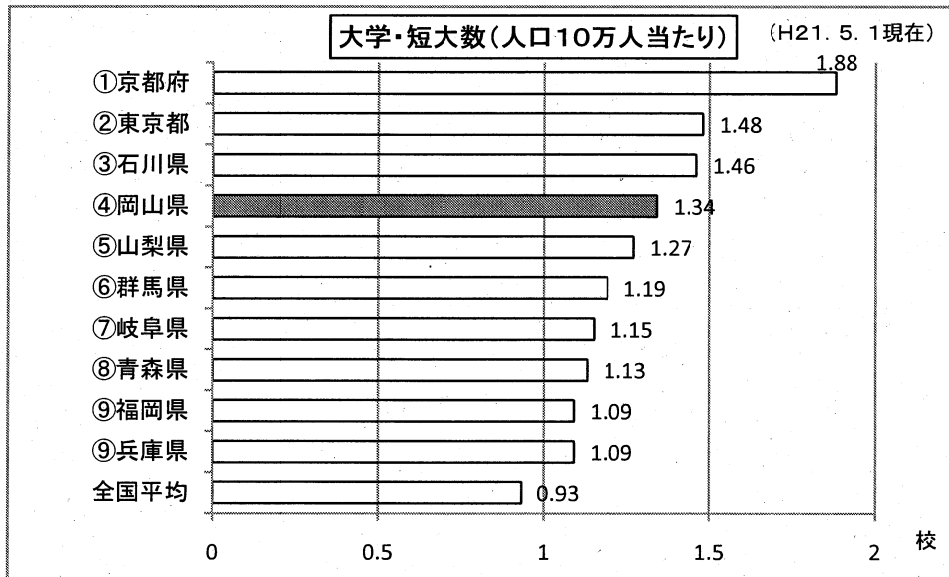


5 優れた教育環境と豊かな伝統文化

(1) 大学・短大の集積

岡山県では、寛文10（1670）年に我が国初の庶民の学校である閑谷学校が開かれるなど、昔から人材教育に熱心な教育県として知られている。

こうした伝統は現在にも受け継がれ、多くの大学・短大が集積（人口10万人当たりの数が全国4位）しており、特に、科学技術に関連した学部や、音楽や芸術関係の学部が多いことが特徴となっている。



(資料: 学校基本調査(文部科学省))

(2) 文化財

岡山県では、恵まれた自然環境や古代「吉備」以来の歴史等を背景に各地域に豊かな文化が生まれ、数多くの文化遺産が受け継がれている。

国指定重要文化財のうち建造物については、国宝の吉備津神社本殿・拝殿、旧閑谷学校講堂をはじめ、神社仏閣の指定が多く見られる。国指定史跡には同じく旧閑谷学校が特別史跡に指定されており、特別名勝に岡山後楽園が指定されている。また、重要無形文化財(人間国宝)については、備前焼作家1名が保持者として認定されている。



吉備津神社



旧閑谷学校



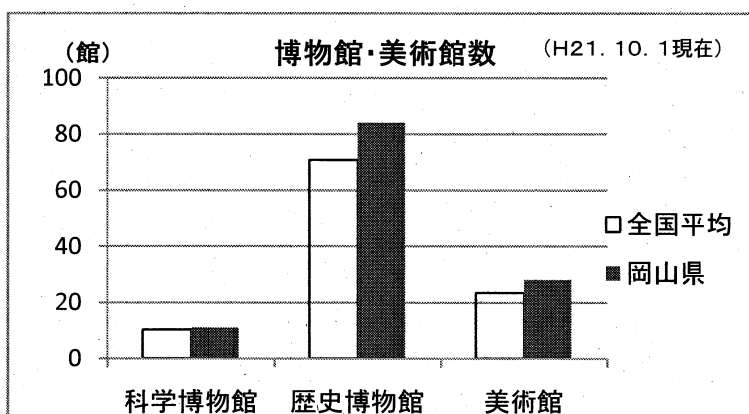
岡山後楽園



備前焼

(3) 博物館、美術館

本県には、日本の最初の西洋美術館である大原美術館をはじめ、数多くの美術館や博物館が設置され、文化に親しむことができる環境が整っている。



※博物館法の規定による登録博物館、博物館相当施設及び博物館類似施設の合計数。

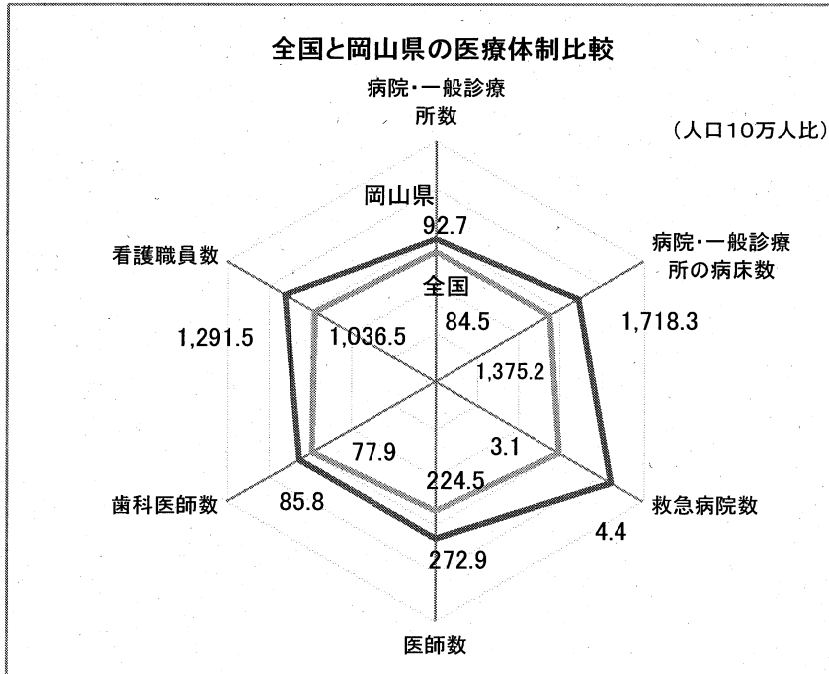
(資料: 社会教育調査(文部科学省))

6 高い医療水準と充実した医療・福祉環境

(1) 高い医療水準と充実した医療環境

県内の医療は、岡山藩医学館（明治3（1870）年開設）や第三高等学校医学部（明治21（1888）年開設）の流れを汲み、非常に高い水準を誇っており、とりわけ、臓器移植や遺伝子治療に代表される先進的な医療技術は、国内のみならず世界的に注目されている。

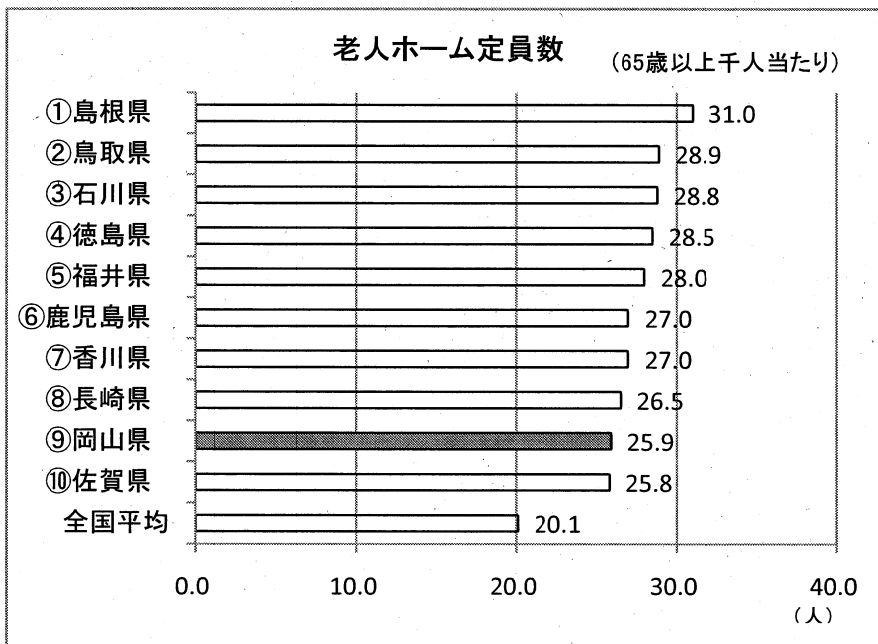
こうした背景のもと、本県では、全国的にみても多くの医師、歯科医師、救急病院数など、地域医療体制の面でも、質・量ともに充実したものとなっている。



(2) 充実した福祉環境

本県は、明治時代に我が国初の孤児院「孤児教育会」が開設され、大正時代には民生委員制度の前身となる「済世顧問制度」が創設されるなど、福祉分野において先駆的な役割を果たしてきた。

こうした背景のもと、老人ホームの整備も進んでおり、65歳以上千人当たりの定員数は全国平均を大きく上回り、上位に位置する。

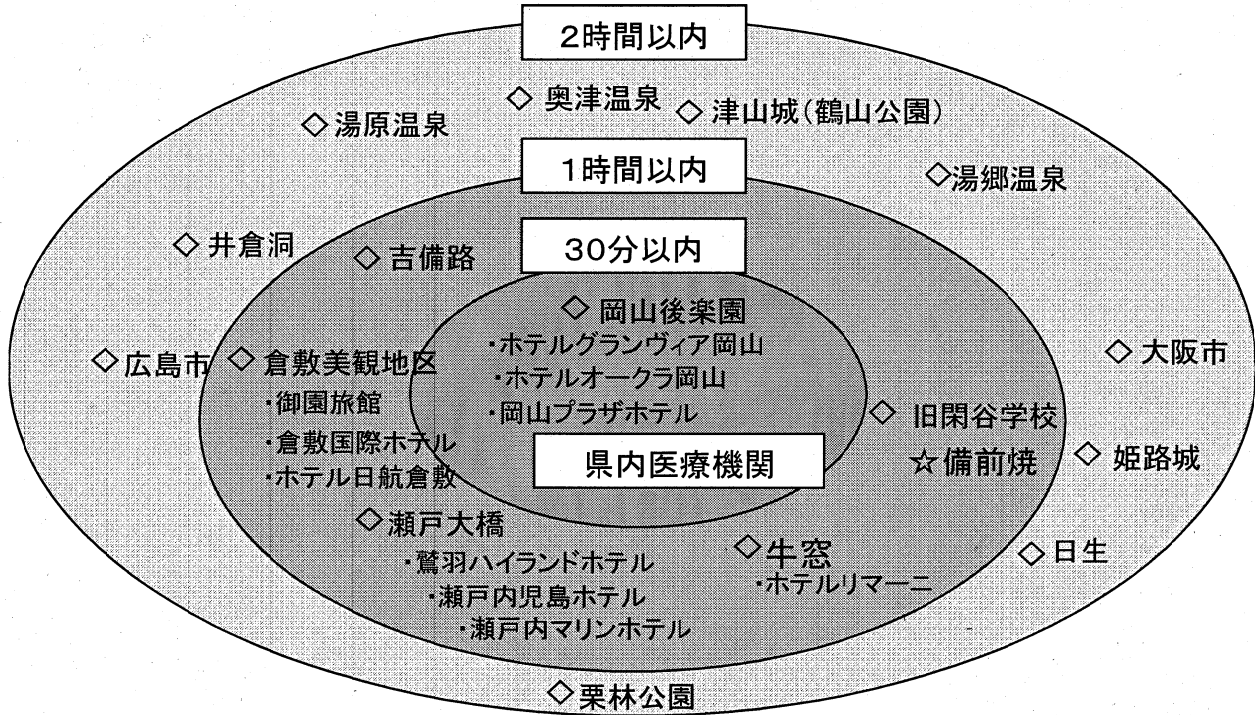


※老人ホーム定員数は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム経費老人ホームの定員数の合計

(3) 医療観光

中国からの観光客を対象とした、人間ドックやPET検診の受診と県内外での観光を組み込んだ旅行商品開発を支援する「医療観光ツアー商品化モデル事業」に取り組んでいる。

◆医療観光ツアー商品化モデル事業のイメージ◆



◎モデルルート例◎

1日目 中国(上海、北京、大連)→岡山空港

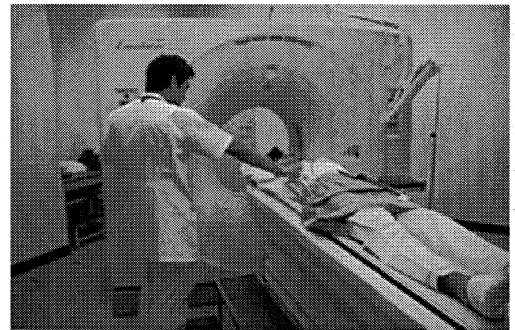
→岡山県内(後楽園、倉敷美観地区等)

2日目 **岡山県内(医療健診)** 午後 姫路城・大阪

3日目・4日目 東京・箱根

5日目 **岡山県内(医療診断結果説明)** 午後 瀬戸大橋等観光

6日目 岡山空港→中国(上海、北京、大連)



7 国際貢献、国際交流

(1) 国際貢献活動

平成16年に、国際貢献活動の定義と、これらの活動を担う主体の役割分担と活動を推進する上での基本原則、県の基本的施策などについて定めた「国際貢献活動の推進に関する条例」を、都道府県レベルで初めて制定し、県民、企業、NGO等とともに協働しながら国際貢献活動を展開している。

※主な国際貢献施活動の状況

■国際救援物資の備蓄等

岡山空港内に設置した救援物資備蓄センターに、広く県民、県内企業等の協力を得て、毛布等8品目の救援物資を備蓄し、フィリピン台風、ハイチ大地震、チリ大地震の被災地に、公設国際貢献大学校が設置したももたろう国際救援隊を通じて提供した。(H21年度：貯水タンク800個)

・備蓄状況(平成22年3月31日現在)

品目	毛布	テント	シュラフ	炊ルケット	貯水用缶	ロープ	土のう袋	防水シート
備蓄量	2,637	32	502	1,518	700	50	4,400	177

■ローカル・トゥ・ローカル技術移転の推進

ミャンマーやカンボジアなどの開発途上国等から海外技術研修員を受け入れ、県内の優れた技術の習得及び県民との交流を通じて、各国に必要な人材を育成するとともに、本県からも専門家を派遣し、現地で技術指導を行うことにより、ニーズに即した技術移転を促進した。

- ・受入 ブラジル、ペルー、中国、カンボジア、ミャンマー 各1名
- ・派遣 カンボジア1名

■国際貢献団体の活動促進

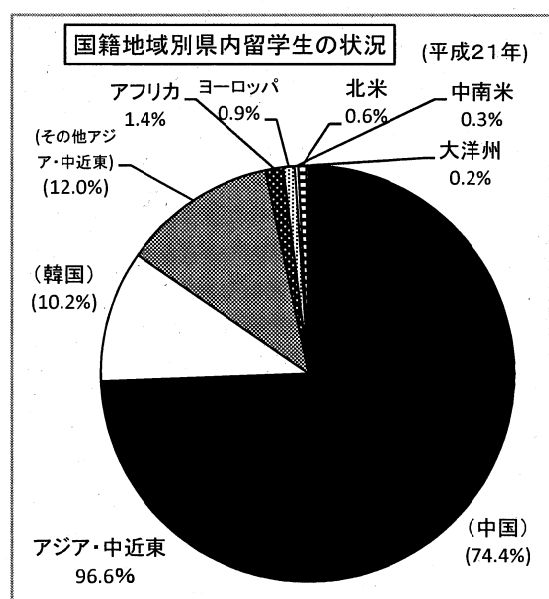
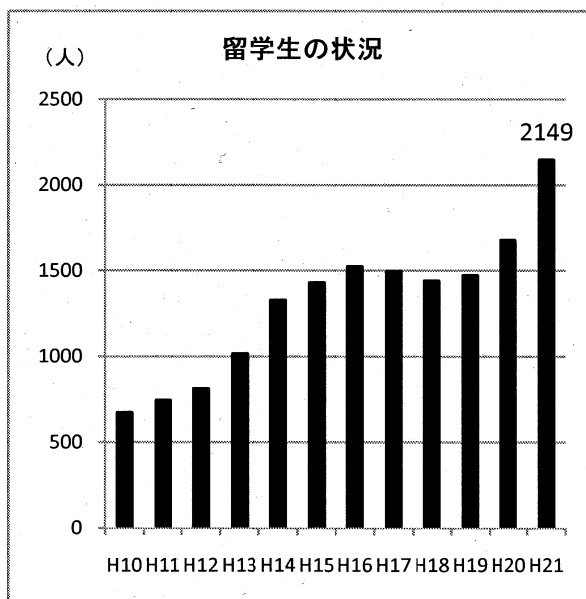
国際貢献活動を2団体以上で連携・協働して実施する場合、助成を行い、団体の自発的な活動の推進を図った。

- ・助成実績 5件

(2) 国際交流・留学生

昨年10月に友好交流協定を締結した韓国慶尚南道をはじめ、本県の友好提携地域である中国・江西省やオーストラリア・南オーストラリア州、インド・プーネ市、ピンプリ・チンチウッド市等、県民の関心や親しみが深い国や地域との交流を、様々な主体と協働・連携しながら進め、本県の魅力を世界に向けて発信し、世界に開かれた交流拠点として発展することを目指している。

また、優れた教育環境や豊かな歴史文化、高い医療水準と充実した医療・福祉環境など、様々な分野において国際的な人材を育成する環境が整っており、アジアを中心とした地域から多くの留学生が本県に集まっていることから、留学生等の生活、進路などを支援する施策を展開している。



(岡山県留学生交流推進協議会調べ)

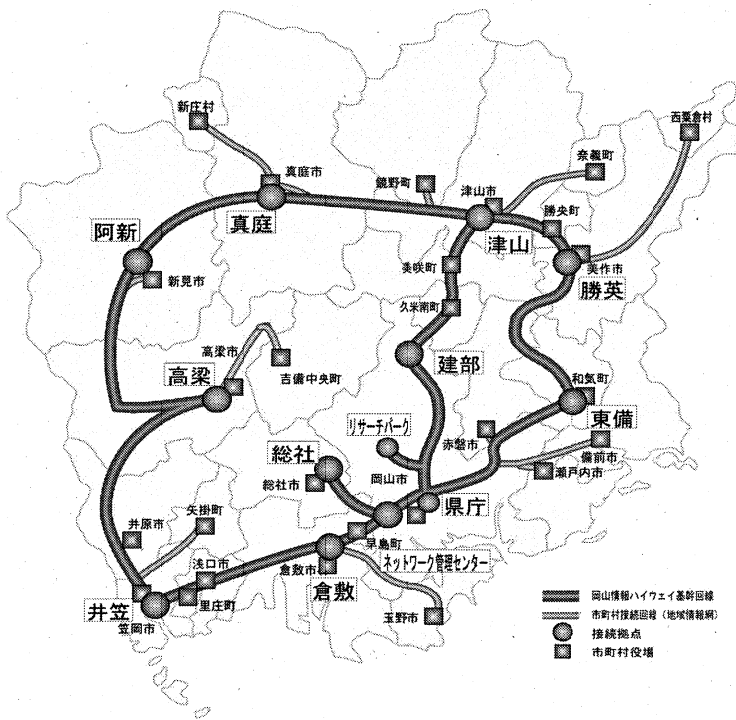
8 IT環境

岡山情報ハイウェイと市町村の公共ネットワークとの接続を推進し、平成16年7月に、全国で初めて地域公共ネットワーク整備率100%を達成したところであり、2,000を超える学校、公民館、病院などの公共施設がつながる高速・強固な公共ネットワークが全県的に形成されている。

岡山情報ハイウェイには、市町村やインターネット接続サービス提供事業者などの民間通信事業者をはじめ146もの団体が接続している。（平成22年4月現在）

岡山県及び県内市町村が整備・保有する光ファイバ網の距離（芯線長）は、259,479kmと全国一の規模（平成21年11月現在）であり、岡山情報ハイウェイを通じて、画像診断等の遠隔医療、大学での遠隔講義、電子申請、CATV等の各種サービスが提供されており、県民福祉の向上に貢献している。

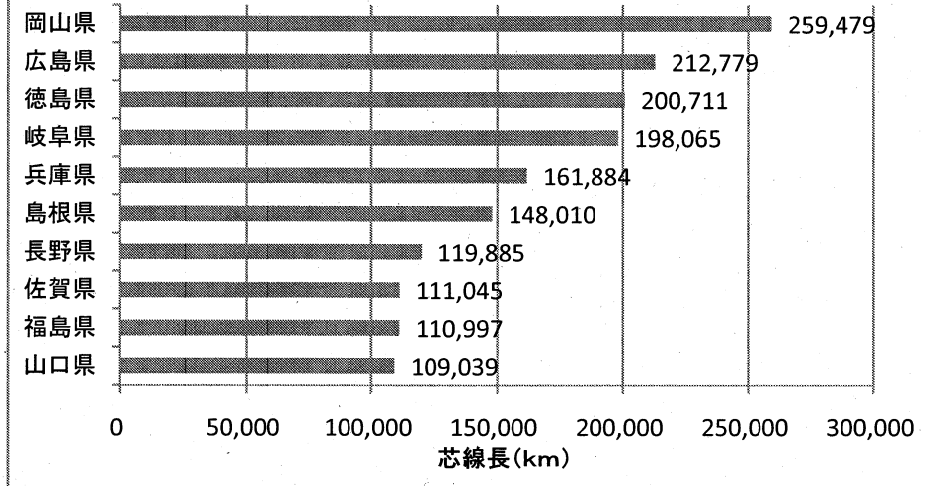
<岡山情報ハイウェイの市町村接続状況>



<岡山情報ハイウェイ接続数(団体別)>

接続団体		件数
電気通信事業者		28
内訳	一次ISP	4
	地域ISP	8
	CATV	11
	その他の通信事業者	5
市町村		30
その他 教育機関、商工会、民間企業等		88
合計		146

光ファイバ網の状況(都道府県別)
(平成21年11月1日現在)

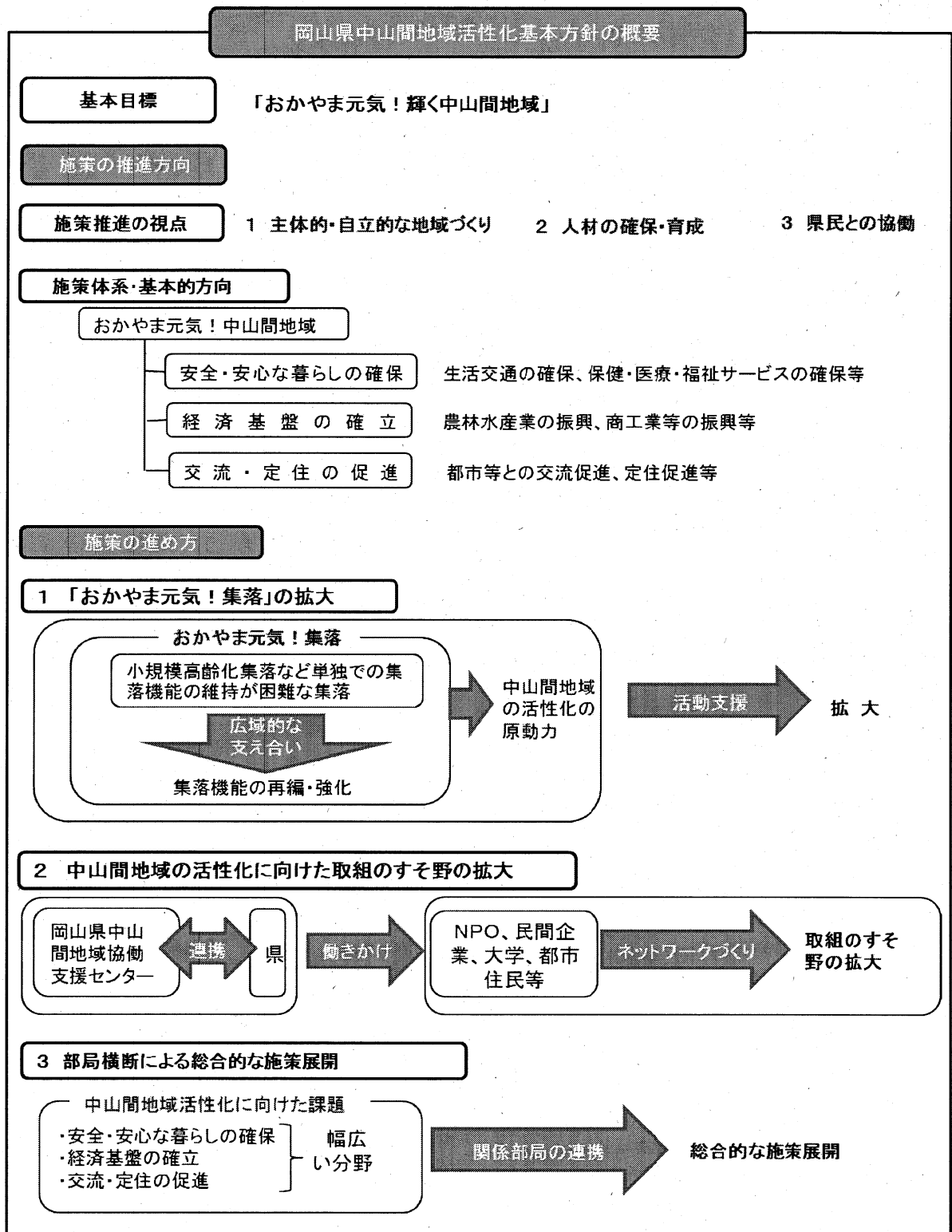


(資料:総務省)

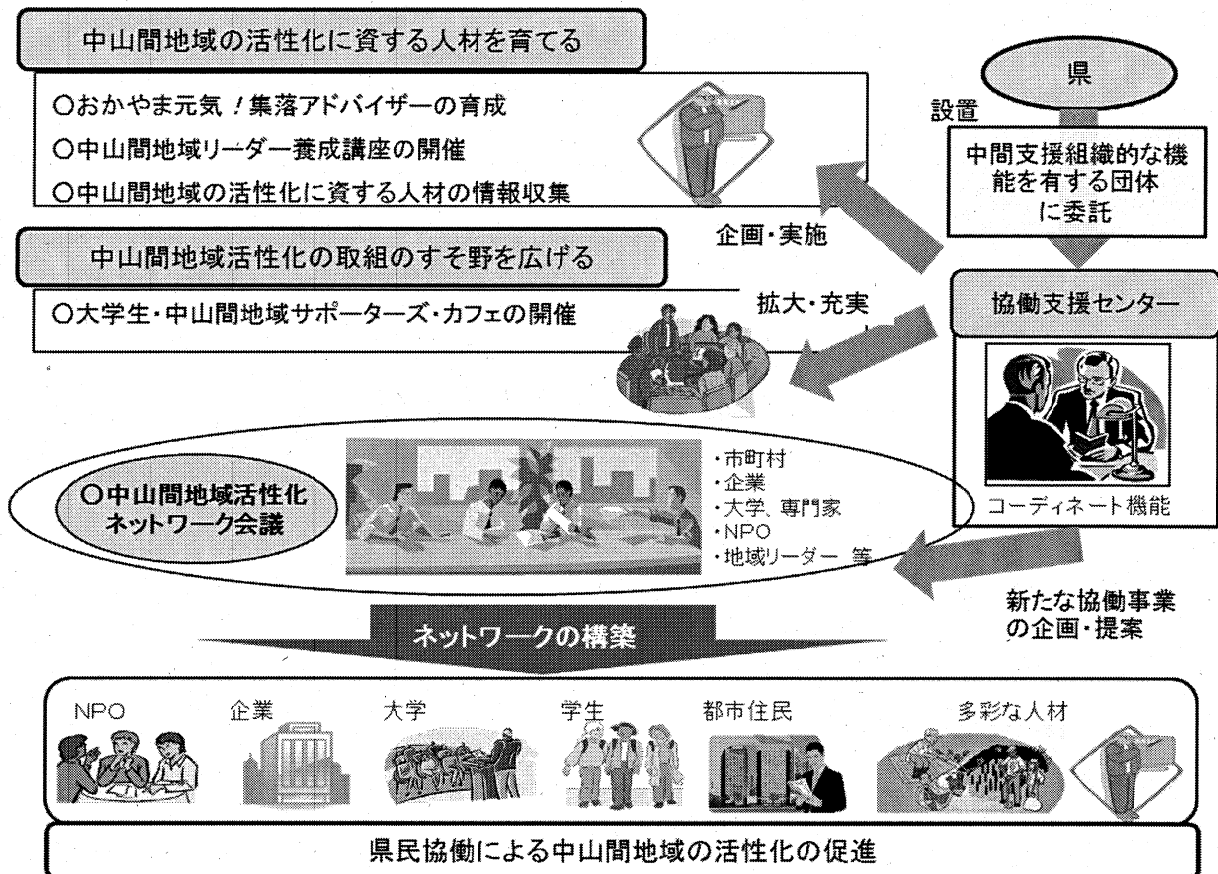
9 中山間地域の活性化

本県において、中山間地域は、概ね県中部の吉備高原から北部の中国山地にかけて広がっており、その区域は22市町村に及び、面積は5,353㎓で県土面積の約75%を占めている。また、中山間地域を有する市町村の人口は約61万人で、県内総人口の約31%を占めている。

水源かん養や国土保全、さらには憩いと安らぎの場の提供など多面的、公益的機能を有する中山間地域の活性化は、地域住民はもとより県民全体にとっても非常に重要であることから、県では「岡山県中山間地域活性化基本方針」を定めて、市町村や地域住民、各種民間団体等との協働により、中山間地域の活性化に取り組んでいる。



中山間地域協働支援センターの役割



◆全県的な空き家情報流通システムの全体像◆

H21～中山間地域等空き家流動化推進事業で後押し(加速)

